

令和4年度 備南西地区秋季体育大会 バレーボール専門部
新型コロナウイルス感染症対策についてのまとめ

全般的な事項

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（大会の受付場所等）に掲示する
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する
- 万が一感染が確認された場合に備え、個人情報への取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた書面について、1か月間保存する

参加募集時の対応

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求める（大会前に書面で確認を行う）
 - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 会場内では、原則としてマスクを着用する（コート内でプレイをしている時以外）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する
- 他の参加者、大会役員等との距離（2m以上）を確保する
- 試合中に大きな声で会話、応援等をしない
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかにその旨並びに濃厚接触者の有無等について報告する

当日の参加受付時の対応

- 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求める
 - 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意する
 - 当日の体温
 - 過去14日以内における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
 - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ※なお、このチェックにかかる参加者は顧問と確認の上、帰宅していただく
- 会場入口には、手指消毒剤を設置する
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛ける（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる）
- 参加者が距離をおいて荷物を並べるように置く場所を指定する。
- 中学校会場では体育館以外の教室等を借り、密を避けて待機させる
- 受付を行う大会役員には、マスクを着用させる
- キャプテン集合は行わず、放送にて連絡をし、更衣、トイレの使用場所、当日の流れ等について周知徹底を行う

参加者への対応

- マスク等の準備
 - 参加者がマスクを準備しているか確認する
 - 参加の受付、着替え等の運動・スポーツを行っていない間、コートへ入っていない時についても、マスクの着用を求める
(試合中および試合前の練習時のマスク着用は試合前に外す指示を本部から行う)
- 試合前後のミーティングにおいても、三つの密を避けるため、フロア外で行う
- 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮する

主催者が準備すべき事項および大会参加者へお願いする事項

- 手洗い場所
 - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする
 - 手洗い後に手を拭くためのタオル持参を参加者に求める
布タオルや手指を乾燥させる設備については使用させない
 - 手洗い場にはアルコール等の手指消毒剤を用意する
- 更衣室、休憩・待機スペース
 - 更衣については、別室を使う等、距離をとって行う
 - 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒する
 - 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮する
- タオルや水ボトル、冷却用のアイシングバッグなどの共用を避けるため、各自持参する
- 洗面所
 - トイレはチームごとに使用する場所を指定し、当日朝連絡する
 - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する
 - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする
 - 手洗い後に手を拭くためのタオル持参を参加者に求める
- 飲食物
 - 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける
- 応援（声援）
 - 生徒の応援は、大声での声援を送らないことや会話を控えさせる
 - 常時マスクを着用する、大きな声で応援を行わないこと等の留意事項を放送することで周知する
 - 中学校会場では応援する際、間隔（2m）を空けるよう呼びかける。密になっている場合は放送でお願いするなど、密にならないよう働きかける
- ゴミの廃棄
 - 基本的にゴミはチームごとに持ち帰る
- 試合終了後ただちに帰宅できるように送迎の時間を必ず確認しておく

競技上の特別規定や留意点

2022年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則にそって行う。
一部以下の特別規定で行う。

- ・試合形式は、25点制3セットマッチ（デュースあり）で行う
- ・公式練習は行わず、試合間を10分程度とり、試合開始とする
- ・各試合で生徒役員8名配置する（記録員2名 得点2名 線審4名）
- ・役員で各コートに分散し、役割分担をして用具、フロア等の消毒を行う
- ・タイムアウトは30秒間、セット間は3分程度、試合間は10分程度とり、手指消毒、用具、フロア等の消毒を行う
- ・試合の前後のミーティングにおいては、密を避けるため、フロア外で行う
- ・各コートのベンチの数を減らし、距離を空けて配置する
- ・アップゾーンはもうけず、全員ベンチに座る
- ・給水時はコートから離れた場所に等間隔で水筒を置いておき、給水を行う
- ・メンバーチェンジについては距離をとって行う
- ・開始時の礼のみで握手は行わない
- ・試合前ベンチでの集合は距離をとって行う
- ・コート内でハドルを組まない
- ・ハイタッチなど身体に触れる行為は行わない
- ・試合運営や試合に関わる時以外は体育館外で待機する
- ・各試合、設定時間を設け、早めに試合が終わったとしても、選手や応援者の入れ替えや休息の時間とし、追い込み式では行わない ※女子会場のみ
(試合終了時刻を目安に帰宅時間のずれを防ぐことも目的)
- ・開会式やキャプテン集合は行わず、放送によって全体へ注意事項を連絡する
- ・閉会式は行わず、コート表彰とする
- ・1試合ごとに更衣、換気、除菌の時間を設け、放送によって管理する
- ・コートチェンジを行わない

大会運営側の準備するもの

- ・各会場の手指消毒液の設置
- ・トイレ手洗い場へのポンプ型石鹸の設置
- ・トイレ手洗い場でのペーパータオルの設置
- ・定期的な換気（練習中や試合間）と空調の活用、扇風機や送風機の設置
- ・試合球を各コート2個用意し、こまめに消毒・汗拭きを行って交換しながら使用
- ・得点板、モップなど共用する備品をこまめに消毒
- ・審判員は各自のホイッスルを使用
- ・ベンチの間隔をとる
- ・一日を通したタイムスケジュールを放送で管理
- ・感染防止のため参加者が遵守すべき事項のチェックリストの作成と配布
- ・WBGT計を設置
- ・各会場へ開館時間や消毒方法についての事前打ち合わせをしておく